

NADA DANE
Vol.3 2024

いし



はじめに

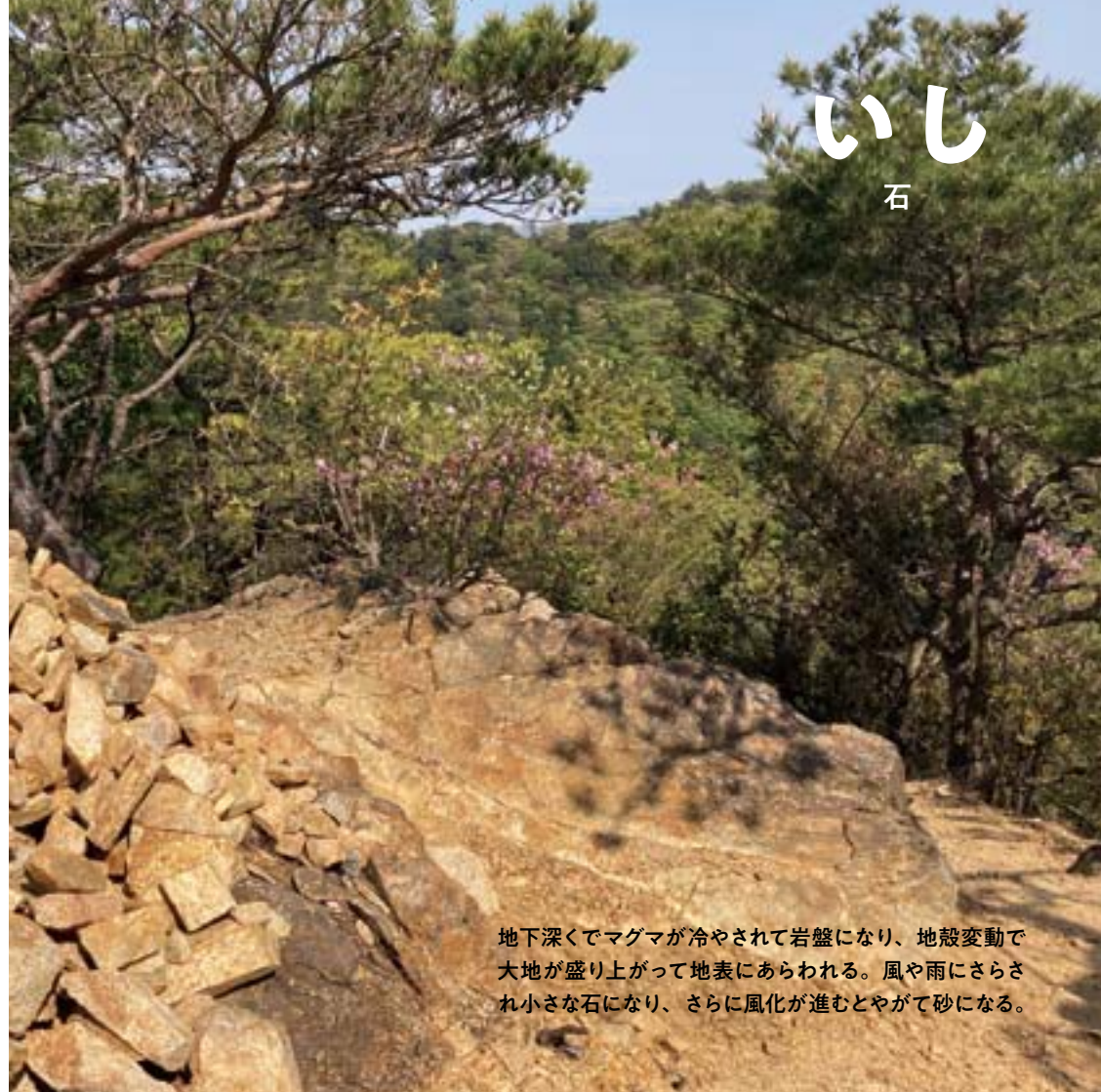
旅先で海に沈む夕陽を眺めるように、古い街並みを味わうように、少し暮らしの速度を緩めると、なにげなく見ている日常風景が特別な瞬間に感じられます。それぞれのシーンは見慣れていても「ふつう」だけど、歴史や自然、文化など、その場所のもつ「らしさ」とつながると、世界中のどこにもないここだけの風景が立ち上がってきます。当たり前の方こうに見えてくるもうひとつの景色。

「なだだね」は、見過ごしがちな灘のまちの風景を、いろんな視点で眺めながら「ふつうの風景」を味わうフリーペーパーです。

今回のテーマは「石」。石は大地のかけらであり、何千万年も前の場所の記憶を伝えるタイムカプセルです。道ばたの小さな石ころにも、めくるめく歴史が秘められています。

いし

石



地下深くでマグマが冷やされて岩盤になり、地殻変動で大地が盛り上がり地表にあらわれる。風や雨にさらされ小さな石になり、さらに風化が進むとやがて砂になる。

石の誕生

石は山で生まれる。地殻変動によって隆起した岩は、風雨にさらされ、長い間をかけて石になっていく。



三国岩

まるで人が積み上げたかのような巨石、三国岩。7500年くらい前にマグマが地下深いところで固まった花崗岩かこうがんが地殻変動によって隆起して六甲山地ができた。岩には規則的な割れ目ができ、そこには水がしみ風化が進むと、大きな岩が分割され小さな石になっていく。【六甲山町・MAP ①】



やぎのとわり 山羊戸渡

岩が羊の群に見えたことから外国人がゴートリッジ（山羊の尾根）と名付けたと言われている。岩に苔が生え樹木が根を下ろすとそこが水源になっていく。むき出しの山の尾根に最初に芽を出すマツはパイオニアプランツ（先駆植物）と呼ばれ、他の植物を育む土壌をつくる。【六甲山町・MAP ②】

祈りの石

山上の巨石は超自然的な姿から、神が降りる磐座^{いわくら}として信仰の対象になった。小さな石は積まれたり、並べられたりした。昔の人は石に特別な力があると信じていた。



雲ヶ岩

鋭利な刃物で真っ二つに割ったかのような不思議な形の雲ヶ岩は、インドから渡来した法道仙人がこの岩で修行中に紫色の雲に乗った毘沙門天と出会ったという伝説がある。法道仙人は摩耶山天上寺の開祖で摩耶山周辺の山々を巡る「回峰行」の開祖と言われている。[MAP ③]



空観堂

灘の畑原で生まれた空観上人は摩耶山で出家し、一時天上寺の弟子となった。祈祷によって病気の人々を救ったと伝えられ、死後も信仰が厚く空観堂が建立された。祠の石を持ち帰り患部をさすると病が治るといった言い伝えがあり、願いがかない戻された小石が残っている。[畑原通・MAP ④]

生きている石

石は自然による彫刻であり、見る角度によっていろんな表情を見せる。
人々は石をさまざまな生物に見立て、命を吹き込んだ。



かえる石とおたまじゃくし石

水車新田近くの道沿いの大きな石はかえる岩と呼ばれ、昔夜になると道の真ん中に出てきて、通る人を驚かせたという伝説の岩。以前はもう少し南にあったので本当に動いてきたのかもしれない。近くを流れる六甲川には、毎年少しずつ大きくなるというおたまじゃくし型の石がある。[鶴甲・MAP ⑤]



人面岩

摩耶山へ登る袖谷道に、いくつか人の顔に見える石がある。ハイカーが木の枝や小石で目や歯をたしていくのでどんどん人面化する。昔から大きな石には魂が宿ると言われる。大きな石に細工をしたくなるのは人間のDNAに刻まれた遊びなのかもしれない。[摩耶山・MAP ⑥]

積まれる石

灘区は御影石（花崗岩）の石垣が多い。明るく微妙な色の違いがモザイクのように積み、地域の特徴的な風景をかたちづけている。



御影石の石垣

石垣をよく見ると、四角い石のものと丸い石のものがある。四角いものは切り出された石で、丸いものは川の石。1938年（昭和13）の阪神大水害の土石流で流された石も石垣として利用された。どれも熟練の職人によるもので今では再現が難しい。

篠原北町
MAP ⑦

高尾通
MAP ⑧

五毛通
MAP ⑨

八幡町
MAP ⑩



地形をつくる石

坂が多い灘の街は、高低差を吸収するために小さな地形がところどころ顔を出す。現代ではコンクリートで造ることも、かつては身近な素材である石が積まれた。石の間に水や空気が自由に行き来し、土の中の環境が保たれる。小さな側溝の底に御影石が使われている場所もある。

MAP ⑪天城通

MAP ⑫永手町

MAP ⑬福住通



はたらく石

身近な素材である石はさまざまな用途に使われてきた。篠原の伯母野山遺跡からは弥生時代の石槍や石包丁などの石器が出土した。



石臼

水道筋・東畑原市場「かねくすかまぼこ店」で80年近く使われてきた大きな石臼。石の臼は金属のもの比べて温度変化が少なく、魚のすりみの鮮度が保て、きめこまやかに魚の身をすりあげることができるという。石と職人の技で絶品の味ができあがる。

[篠原南町・MAP ⑭]



力石

丹生神社の境内には石を持ち上げて力試しをしたと言われる力石が残っている。直径50cmほどのかなり大きな石で、とても一人で持ち上げることはできない。人力に頼っていた昔は重いものを持つ者がヒーローとされた。現代人とは体の使い方が違うのだろう。

[高羽町・MAP ⑮]

大きな石

街の中で不意に巨石に出くわす。それらには森を育む山のような、あるいはどう猛な動物のような生命力がある。



掘り起こされた巨石

山から流れ出す急な川が広い平坦地に出ると流れが緩やかになり、運ばれてきた石や土砂が堆積して灘は坂の街になった。大きな石は谷筋を下り街にたどりつく。遠い昔、山から転がって地面に埋まってしまった巨大な石がマンションやビルの工事現場で出てくることがある。[水道筋・MAP ⑩]



福石

篠原厳島神社の境内にある巨石。800年くらい前、平清盛が平盛継に命じて頭に珠を担ぐ大蛇の首を討ち取った。その首を埋め、その上に置いた石という伝説があり、縁結びに御利益があるという。石の上に植物がびっしりと育ち、まるで小さな山のような風情。[篠原北町・MAP ⑪]

しめす石

詳細な地図がなかった時代、簡単に動かせない石が場所や方向、境界を示す目印になった。



どろり道標

道路の辻、街道の分岐点に立てられた方向や距離を示す道標。今はその役目を終えたが、今でも街角にひっそりと立って方角を示し続けている。

備後町 MAP ⑱	福住通 MAP ⑲
--------------	--------------

八幡町 MAP ⑳	岩屋中町 MAP ㉑
--------------	---------------



神戸市界

現在灘区域の西灘村、六甲村、西郷町の灘三ヶ町村が1929年（昭和4）神戸市に合併される前、神戸市の東の境界だったことをしめす境界石が神戸文学館の敷地内にある。このあたりは原田の森と呼ばれ、1889年（明治22）が関西学院が創立された。

[王子町・MAP ㉒]

語る石

住宅地や商店街にたたずむ地藏や古墳。過去の歴史を今に伝える生き証人であり、街の大事な歴史遺産である。



鬼塚古墳

水道筋1丁目商店街の照光寺の敷地に古墳時代後期(7世紀初頭)の古墳の石室が残っている。元々は横穴式古墳だったが盛土が取り除かれて、古墳を彷彿させるものは石組のみとなってしまった。商店街に面した古墳は珍しく、買い物ついでにタイムスリップ感が味わえる。[水道筋・MAP ②]



太郎八地藏尊

都賀川河口近くのとぼけた表情の地藏尊は1765年7月16日の台風で都賀川上流から流されてきた。大石の太郎八という人が拾い上げたので太郎八地藏と呼ばれるようになったと伝えられている。流されてきた日を命日にしたのでこの地藏盆は他の地区より1月以上早い。[大石南町・MAP ④]

渡る石

川を渡るための石たち。長い時間を経て今でも現役で人の往來を支え続ける。



阪急神戸線都賀川橋りょう

1920年（大正9）に阪神急行電鉄（阪急）神戸線が開通した。都賀川に架かる鉄橋の橋脚は、赤茶色で一見レンガに見えるがよく見ると石積み。この橋は春に桜越しに阪急電車を撮影できる絶好のスポット。古い橋脚と桜のコントラストがすばらしく、カメラを向ける人も多い。[篠原南町・MAP 25]

飛び石渡

かつての「国道」が山の中に残っている。神戸港が開港した際、西国街道を通る大名と居留地の外国人との衝突を避けるため1867年（慶応3）に摩耶山の北側を迂回する西国往還付替道（現徳川道）が造られた。途中、川を渡るための飛び石が設置され、今はハイカーが渡る。[桜谷・MAP 26]





灘だいたいマップ

今回の撮影スポットのだいたいの場所です。
あえて細かい場所は示していません。
ぜひ、みなさんで確かめに行ってください。

編集後記

- ▼身近な石、という視点で今回は町を歩いて見た。見返してみると積み上げていく石に眼が行っていた様な気がします。
- ▼もの言わぬ灘の石たち。色は地味でも表情豊か。いろいろ聞こえてくる気がしました。
- ▼石は冷たくてあたたかい、ツンデレな存在です。
- ▼ハイキング道として何気なく上を通っていた足元の石たちが、私よりも何千年も歴史を刻んでいるということを改めて実感しました。また様々な用途にも使われ、石の底知れぬパワーを感じました！
- ▼「いし」のテーマに決まってから、街中の置物やモニュメントの素材が気になるようになってしまいました。「石のふりしたプラスチック」や「煉瓦みたいな石」などもあるので、是非よく観察して、灘の石を楽しんでください。

参考資料

- 「灘百選～灘の魅力再発見～」(灘区民まちづくり会議)
- 「なだ 灘神戸市編入五十周年記念誌」(灘三ヶ町村神戸市編入五十周年記念行事協賛会)
- 「灘の歴史」(灘区 80 年史編集委員会)
- 「土中環境」(高田宏臣著)

なだだね Vol.3

2024年3月発行

企画・編集 灘百選の会
発行 神戸市
問合せ 灘区役所地域協働課
灘区桜口町 4-2-1
TEL 078-843-7001
FAX 078-843-7034

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

